

死の王 (1989)

KING OF DEATH

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 80分

初公開日 1996/09/28

公開情報 アルバトロス

映倫 R

【解説】

「ネクロマンティック」のユルグ・ブットゲライトが、ある一週間を時間軸に、月曜から日曜の一日つつ、オムニバス形式で登場人物たちのそれぞれの死（自殺）について綴った作品。ドイツの裁判において例のごとく“国内上映禁止”、“ネガ、その他撮影にかかわった物の廃棄処分”を受けた問題作。月曜の男が死ぬ間際に書いていた手紙を導き役に、それを受け取った人たちがさながら死の伝言ゲームのように自殺していく。映像的には「ネクロマンティック」よりもおとなしめだが、表現力は本作品の方が上。描写を押しえた分、ある種、詩的な雰囲気すら感じられる。エピソードの間に挿入されている死体の腐乱していく模様や、古めかしい音楽も一層その異常な雰囲気を表現している。8ミリで撮られた土曜日の女のライブホールでのシーンは本物を思わせるような迫力がある。この監督の映像の捉え方は確かなのだろう。

【クレジット】

監督	ユルグ・ブットゲライト	Jorg Buttgerreit
製作	マンフレッド・O・イエリンスキー	Mangred O. Jelinski
脚本	フランツ・ローデンキルヒェン	Franz Rodenkirchen
撮影	マンフレッド・O・イエリンスキー	Mangred O. Jelinski
音楽	ダクタリ・ロレンツ	Daktari Lorenz
	ヘルマン・コプ	Herman Kopp
	ジョン・ボーイ・ウォルトン	John Boy Walton
出演	ヘルマン・コプ	Herman Kopp
	ニコラス・ペッチェ	Nicholas Petche
	アンジェリカ・ホッホ	Angerika Hoch
	ミヒャエル・クラウス	Michael Krause
	ハインリッヒ・エーベル	
	エヴァ・クルツ	